

## 開会の挨拶

狩野 陽

これから福村先生のお話に入りたいと思いますが、福村先生のお話はほぼ一時間程を予定しております。お話のお進めによっては自由にお時間をおとりいただいて結構でございます。その後で、ちょっと質疑と、コメンテーターとしてお願いをしています北海道大学工学部の田中譲先生にお話を細かくついていただきます。このような展開になりますと、福村先生はお祭りの御参加のつもりでおいでになったそうでございますが、北海道の夏の祭りも、なかなか賑々しく威勢もあるかと期待をいたしております。それからコーヒブレイクを三時十分位のところで予定し、次に直ちに吉田先生のお話に入りたいと思います。吉田先生の話につきましては当学部の伊藤守助教授と井上芳保助教授とが論議の刃を研いで待ち構えております。それもまた夏祭の花火となって空を輝かすかと思えます。終わりますのは大体五時過ぎかと思えますが、バスを待たせておりますので石狩のペケレット湖園においでをいただいて、そこで六時から二時間程、これは本当に、ただジンギスカン料理を食うということだけでございますが、一種のシンポジウムをビールを仲立ちにして続けたい、そう思っております。

す。

次の日は、朝十時から田中一先生の報告をいただきます。それにたいして、今日のお話の補足を含めまして福村先生、吉田先生からコメントをいただきたいと思えます。ただ、この申し上げた粗筋は、形の上だけでございまして、というのは少人数の会合とした趣旨はここにいらっしゃる全ての方が議論に加わっていただける、ということをご期待しての設定でございます。皆さんの自由な御参加をいただきたい、遠慮なくご論議をいただきたいとせつに希っております。シンポジウムは、できますならば創刊される社会情報学部紀要の第1号にシンポジウム記録としてまとめていきたいと思っております。

それでは、これからこれまでの準備と今日の司会をいたしますメンバーをご紹介します。私の隣にいらっしゃいますのは皆川助教授、お隣が千葉助教授それから田中二郎教授で、その外、伊藤助教授、井上助教授にも討論のみでなく司会に加わっていただきます。

それではまず始めに、田中先生に開会の挨拶をお願いします。